

Living the

LOTUS

Buddhism in Everyday Life

8
2017

VOL. 143

開祖随感

話より態度

料理のおいしさを舌が感じるのはじつは二割足らずで、八割方は匂いや色、温度などの全体で感じているのだといいます。また講演などでも、聴衆は話の内容は七パーセント程度しか聞いておらず、むしろ講演者の人柄や態度、話し方の印象などのほうが、はるかに強く残るとい調査結果もあります。

「この人の話は信用できる」と信頼感を抱くと、聴衆は身を乗りだして、うなずきながら聞いてくれますが、なんとなく信用できない人だ、という感じを持ってしまうと、話の内容がどんなに立派でも、心が受けつけないのです。

私も説法するときは、みなさんの顔を見て、自分の言葉がみなさんの心に届いているかどうか、顔色を見ながら話すのですが、決め手は正直さだと思うのです。

自分の言葉で、飾らずにありのままに話すと、みなさんが必ず納得した顔になります。自分がやりもしない、やれもしないことを建て前論だけで力説しても、その言葉には心がこもりません。自信が伴わないわけです。そこを、聞き手は耳ざとく聞き分けてしまうのです。

(『開祖随感』9, P. 102-103)

Living the Lotus 2017年8月号 (Vol.143)

【発行】立正佼成会 国際伝道部

〒166-8537 東京都杉並区和田2-7-1
普門メディアセンター3F

Tel: 03-5341-1124

Fax: 03-5341-1224

E-mail: living.the.lotus.rk-international
@kosei-kai.or.jp

編集責任者: 水谷庄宏

編集チーフ: 金尾江利子

校閲者: 竹谷祐市郎、小坂和正、菊池克之

編集スタッフ: 国際伝道部スタッフ

立正佼成会は1938年に庭野日敬開祖、長沼妙佼協祖によって創立された、法華三部経を所依の經典とする在家仏教教団です。家庭や職場、地域社会の中で釈尊の教えを生かし、平和な世界を築いていきたいと願う人々の集まりです。現在は庭野日鏡会長とともに、私たち会員は仏教徒として布教伝道に励みながら、宗教界をはじめ各界の人々と手をたずさえ、国内外でさまざまな平和活動に取り組んでいます。

Living the Lotus—Buddhism in Everyday Life(法華経を生きる～生活の中の仏教)というタイトルには、日々の生活のなかに法華経の教えを活かして、泥水に咲く美しい蓮の花のように、人生を豊かに、そしてより価値あるものにしていきたいとの願いが込められています。本誌を通じて、世界中の人々に日々の生活のなかで活かす仏教の教えをお伝えします。

見えないはたらきに気づく

立正佼成会会長 庭野日鏡



信仰は「気づき」のきっかけ

いま流行りの脳トレーニングではありませんが、今月はまず初めに、クイズを出題したいと思います。

「空気・心・ご縁」。この三つに共通することがらが何か、みなさんはおわかりになるでしょうか。

一見、なんのつながりもなさそうですが、これらには次のような共通点があります。

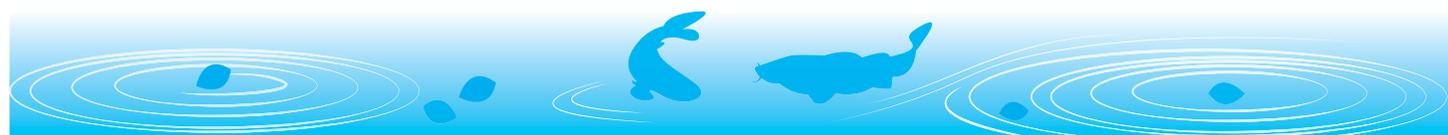
「実際に触れることも見ることもできないものでありながら、私たちが生きるうえで欠かせない大切なもの」

これが答えです。ふだんはあまり気に留めることがないにもかかわらず、その存在の大切さに気づけば、感謝せずにはいられなくなるものともいえるでしょう。

もちろん、まだほかにも同じ理屈にあてはまるものはありそうです。みなさんは、何を思い浮かべますか。心やご縁を具体的に考えてみても、たとえば親の恩やご先祖の徳、家族の思いやりや友人の気遣いなども、つい感謝を忘れてしまいがちな「目には見えない大切なもの」といえます。

スイスの画家パウル・クレーは、「芸術は目に見えないものを見えるようにする」といっていますが、宗教や信仰もまた「目に見えないものを見えるようにする」ものです。正確にいえば、目には見えない心のありようや「いのち」の不思議・有り難さ、そして生命の尊さなど、人として生きるうえでほんとうに大事なことに気づかせてくれるきっかけを、宗教や信仰は与えてくれるのです。

では、それが現実の生活においてどのような意味をもっているのかを考えてみましょう。



素直になる

法華經の如来寿量品に「常に此に住して法を説く」という一節があります。仏さまはいつも、私たちのすぐそばで法を説きつづけてくださっているということです。

ところが、そのあとすぐに「我常に此に住すれども 諸の神通力を以て 顛倒の衆生をして 近しと雖も而も見ざらしむ」とつづきます。すなわち、私たちにはそれが見えない、聞こえない、わからないというのです。

なぜかという、「顛倒の衆生だから」と経文にあります。ものごとを誤って受けとったり、自分本位のかたよった見方をしたりするからだというのです。

それでは、私たちはどうすれば仏さまからのメッセージに気づけるのでしょうか。いちばん簡単な方法は、素直になることです。素直になれば、目に見えない大切なものも、仏さまの説法も手にとるように感じられ、まざまざと見えてくるはずです。その証拠の一つが、本誌にある「信仰体験」であり、本会の大聖堂や教会道場でみなさんが発表される「体験説法」ではないでしょうか。

どれほどつらい現実に直面しても、それをありのまま素直に受け入れたとき、人はそれぞれに大事な気づきを得る——ある人は多くの人の支えに気づき、ある人は生命の尊さを味わい、またある人は友や家族の思いを痛感し……。

それはどれも、いままで思いもしなかった感謝に変わり、そのことに気づききっかけとなった厳しい現実にさえ「ありがたい」と、頭を垂れます。客観的に見れば苦境にあることに変わりはなくても、目に見えない大切なことに気づいたとき、多くの人が胸のつかえのとれたような安心感に満たされるのです。それは、救いだと思います。目に見えないものはたらきや仏さまの声に気づくというのは、いうなれば幸せになる早道です。

お盆や夏休みでおおぜいの人が集まることの多いこの季節は、みんなで「目に見えない大切なもの」に思いを馳せるいい機会といえるかもしれません。

(『佼成』2017年8月号)



すべての出会いに感謝して

サンフランシスコ教会長
永嶋孝至

この体験説法は、2017年3月4日、東京の大聖堂での開祖さまご命日式典にて行われたものです。

みなさま、お願いいたします。開祖さまご命日の佳き日にお説法のお役を頂き、誠にありがとうございます。

私は神奈川県横須賀市で永嶋家の長男として生まれました。現在64歳です。私には弟と妹がおります。52歳の時にブラジル教会長を拝命し、60歳からサンフランシスコ教会長の大役を頂いております。サンフランシスコ教会長に着任後、しばらくしてお導きがないことに気づき、私は「困った」という思いを抱きました。ブラジル教会では、お導きのお手配をたくさん頂きましたので、サンフランシスコ教会にもすばらしいところがたくさんあるにもかかわらず、比べる心のある私にはそれが見えませんでした。一年、二年、三年と、サンフランシスコ教会のみなさんと共に修行させて頂く過程で、会員さんたちのすばらしさが見え、現在では仏さまに生かされている自分を感じ、毎日感謝の心で楽しく修行させて頂いております。

会長先生から昨年の御親教で「温習」というお言葉を、今年の年頭法話では「有り難し」というお言葉を頂きました。『佼成新聞』の年頭法話の冒頭に「つらく、悲しい思いをしたからこそ 何が大事かを知り、やさしくなれる」と書かれてありました。私は心が震えました。父のこと、そして少年時代に出会った神奈川県担当の南青年教務員さんのことを思い出したからです。

小さい頃の私は劣等感のかたまりで、暗い性格の少年でした。家は貧しく、両親の夫婦喧嘩が絶えませんでした。電気溶接工だった父は短気で、母や私たち兄弟は父によく叩かれました。物心ついた頃から父を怨むことしか知らず、「いつか殺してやる、家出がしたい、ぼろ家に火をつけたい、死にたい」と、この四つのことばかり考えておりました。

私が2歳の時、父の職場の太田さんという方に両親はお導きを頂きました。佼成会に入会させて頂いたものの、その後も夫婦喧嘩は絶えませんでした。それでも母は当時の支部道場に毎日通いました。母に道場につれて行かれたことを今でもうっすらと憶えております。

小学校5年生の時、私は横須賀教会で行われた中学生練成会に、父の命令で参加させられました。いやとは言えず、ふて腐れながらの参加でした。唱題修行が行われ、言われるままにお題目を唱えていました。すると、南教務員さんが耳元で「ごくろうさん」と囁かれたのです。思ってもいなかった言葉に私はびっくりし、その瞬間、私の目から涙が吹き出しました。私は南教務員さんにしがみついて泣きました。生まれて初めて人間扱いをしてもらえた気がしたのです。うれしかった。そして、この人について行こうと決めました。

下ばかり向いていた私は、それ以来、積極的にお役をさせて頂くようになりました。教会でも学校でも色々なお役をさせて頂きました。ただ南教務員さんに喜んでもらいたい、褒めてもらいたいという気持ちからでした。こうして一步を踏み出した私ですが、父の前で



大聖堂で説法をする永嶋教会長

ビクビクする気持ちはなかなか抜けませんでした。21歳の時、私は十二指腸潰瘍の手術を受けました。父への恨みが潰瘍という形になって現れたのです。しかし、それは仏さまのお慈悲でした。潰瘍の切除手術が成功したとき、父は少年のような笑顔で喜んでくれたのです。それまで見たことのない父の顔がそこにありました。「ああ親父は私のことを心配してくれていた。」ベッドに横たわりながら、そう思いました。父の気持ちが分かり、20年にわたる怯えの感情が徐々に親しみが変わっていきました。よく考えると、南教務員さんと出会わせてくれたのは父でした。また、父の厳しさがあつたからこそ、南教務員さんの一言が私を変えたのだと今の私には思えます。その父は64歳の若さでこの世を去りました。「お母さんを頼む。」息を引き取る直前、父の私を見る目は信頼の目でした。私は「任せて下さい」と応えました。

私が幼い頃、母は毎晩のように泣いていました。しかし、もしかしたら父よりも母の方が強かったのかもしれませんが。母は佼成会に通い続けました。怒鳴られても、叩かれても、佼成会に通いました。泣きながら教会に通いました。母は思い出話で「夜はお父さんに泣かされ、昼間は法座主さんにあなたが悪いと泣かされた」と言っていました。私が10歳を過ぎる頃には、我が家にも少しずつ安らぎが訪れました。貧しいながらも和氣藹々^{あいあい}の家庭になりました。それまでの母の修行は言葉では言い尽くせません。

20代の頃、「お母さんはなぜそんなに一生懸命信仰をするの?」と母に聞いたことがありました。すると、母は「お悟りが怖いから」と答えました。もう少し立派な答えが返ってくると思っていたので、私はがっかりしました。そして、そのことが私の心にずっと残っていました。50代になってこの話を家内にしました。すると「そのお悟りって、自分へのお悟りじゃなくて、あなたにお悟りが出るのが怖かったんじゃないの?」と言いました。「エッ?」私は脳天を叩かれた思いがしました。実は、かつて母は法座で長男の私が短命であるご指導

を頂いていたのです。母は私のために自分の人生のすべてを捧げて生きてくれたのだ…そう思った瞬間、心の底から母への感謝の気持ちが湧いてきました。私がブラジル教会長のお役を拝命した時、一番喜んでくれたのが母でした。そして、離れて暮らさなければならぬことに心の底から寂しく思っていたのも母でした。毎年、私は11月に帰国させて頂き、2週間ほど滞在した後ブラジルに戻っていました。晩年の母の言葉は「来年はもう会えないかもしれない」でした。「寂しいんだなあ」と思いました。平成21年8月「母危篤」の知らせが入った時、会長先生のお慈悲により日本への一時帰国が許されました。余命幾ばくもないと思われた母のもとに駆けつけると「教会長さんがいらした」と、さっとベッドの上で正座をしたのです。母の世話をしてくれていた弟夫婦はびっくりしていました。それから一か月間、私は母のそばで過ごすことができました。母は「有り難い、有り難い」と言いながら83歳で旅立ちました。兄弟家族全員で見送らせて頂きました。

人を恨む気持ちとはどんなものか、怯える気持ちとはどんなものか、認められた時の喜びはどんな気持ちかなど、私は両親と南教務員さんのお陰さまでさまざまな体験をさせて頂きました。その体験はかけがえない私の宝物です。本当にありがとうございました。

さて、サンフランシスコ教会のすばらしさが見え始めた頃の体験です。教会にAちゃんがありました。Aちゃんは16歳の女の子です。4年前、初めて出会った頃のAちゃんはいつもブスーツとして不機嫌そうでした。式典や研修に来て、いつも部屋の後ろで宿題をやっていました。正直、私は苦々しく思っていました。Aちゃんの仏性が見えなかったのです。しかし、一方でAちゃんの姿が幼い頃の自分に重なり、何とか幸せになってもらいたいとも思いました。多感な年ごろの女の子とのふれあいはとても難しいものです。私は出合いの瞬間に祈りを込め、自分の方から明るく挨拶をしました。しばらくして、Aちゃんがとても優秀なこと

Spiritual Journey

を知りました。さらにアメリカ人の父親と日本人の母親を持つAちゃんは、日本語も英語もなに不自由なく話せることも知りました。

教会の研修やお説法は日本語と英語で行います。ある時Aちゃんに「私の英語分かる?」と聞きました。そうしたら、「分かるよ。教会長さんの話、面白いから」と言ってくれました。うれしかった。私にとってそれは二つの喜びでした。一つは私の拙い英語が通じていること。もう一つは、Aちゃんと心が通い合った喜びでした。いつも宿題をやっていたAちゃんですが、私の話もしっかり聞いてくれたのです。

実はAちゃんの両親は離婚していました。木曜日と金曜日は父親の家で過ごし、その他の日は母親の家で暮らすという毎日。そして日曜日には母親に連れられて教会に来ていたのです。「Aちゃんは偉いなあ。」そう思いました。私のAちゃんに対する見方が変わった頃から、Aちゃんの表情が柔らかく、明るくなったように思います。

ある日、家内が私に言いました。「Aちゃんが心配していたわよ。今日の教会長さんは元気がなかったって。」私はグッときてしまいました。私がAちゃんのことを心配して見ていると思っていたのですが、実はAちゃんが私のことを見守ってくれていたのです。Aちゃんは私の仏性を開いてくれた、仏さまのお使いだったのです。そう思ったときAちゃんに心の底から感謝しました。「ありがとうございます」と。Aちゃんだけではありません。サンフランシスコ教会のすべての会員さんが私のことを心配してくださっていたのです。なんと有り難いことでしょう。

会長先生は年頭法話で「感謝のできる人間になる——結局、それが、私たちの信仰の目標といえるのではないのでしょうか」とお説きくださいました。また「『有り難し』『感謝』の心を、きちんと言葉にすることです」と、実践すべきことを極めて具体的にお示しく下さいました。

サンフランシスコ教会には「幸せの四つの言葉」という合言葉があります。「ありがとう、ごめんさない、う

れい、すばらしい」です。毎回、この合言葉を教会のみなさんにお伝えしているのですが、実は私がいちばん口に出して言わなければならない言葉だったのです。自分にとって都合の良いことにも悪いことにも、あらゆることに、「ありがとうございます」と言える私にならせて頂きたいと思います。南教務員さんのように、感謝の心、希望の心、安心の心、許す心を、苦しんでいる方に思い出して頂けるようなふれあいのできる自分にならせて頂きたいと思います。父も母もきっと喜んでくれると思います。

開祖さまのお陰さまで私は救われました。家内をはじめ弟夫婦、会員のみなさまのお陰さまで私はここまで歩んで来ることができました。

現在、世界は分裂に向けて進んでいると言われます。「すべての生きとし生けるものは一つの乗り物に乗り、大いなる命に生かされ生きている」という開祖さまの「一乗の教え」を、今こそ世界中の人々に伝え、人類の常識にすること——そのために私は生を受けたのだと自覚し、人生のすべてを世界布教に捧げることをお誓い申し上げ、本日のお役に代えさせていただきます。

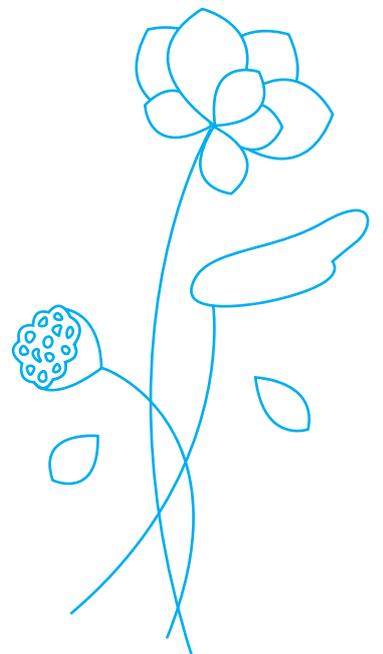
みなさま、ありがとうございました。



サンフランシスコ教会で研修講師を務める永嶋教会長

Living the

LOTUS



スマホを手放せない高校2年生の娘が心配です

Q 娘は学校から帰って来ると、ずっとスマホをいじり、SNSを見たり、LINEを確認しています。そんな姿が心配で「少しくらい放っておけば？」と聞くと、「話題についていけなくなるもん」と、本人も無理をしている様子です。どのような触れ合いをしていけばいいのでしょうか。



A 娘さんの様子を見て、心配な心をそのまま訊ねられるあなたは、素敵なお母さんですね。

「話題についていけなくなるもん」という娘さんの言葉は、親や家族より仲間とのつながりを一番大切に考えている高校生らしい心の現れです。親からすれば、「そこまでなくても」とか、「ほかにやるべきことがあるんじゃないの」と言いたくなりますが、適度に妥協できない純真さが高校生期の特徴なのです。無理をしていることもあるかもしれませんが、本人はそんな自分が見えていながらも、仲間との楽しい時間を通して自分の存在感を味わったり、また、思いを伝えることの難しさなどたくさんのことを学んでいるのです。



複雑に見えるネット社会に不安を感じることもありますが、こういう時代だからこそ、親もスマホやLINEのことを学びながら、それらを生かす方法を子どもと話し合ってみてはいかがでしょうか。むしろ、子どもから教えてもらうことが多くなるでしょうが、親から頼りにされているという肯定感が自信となり、親子の絆と信頼関係が深まっていくことと思います。人間は信頼してくれる人を裏切ったり、悲しませたりはしないものです。

コミュニケーションの方法として、スマホやLINEも社会の中で生きていくための手段のひとつと捉えたいので、勉強や部活動、地域の活動など、毎日努力していることをありのままに認めてあげましょう。言葉に出してほめてあげたり、たわいのない親子の楽しい会話で、家庭が子どもにとってほっと心の休まる場所になることが一番大切です。そんな願いを持って娘さんを見守りながら、信じてあげてください。

(回答:東京家庭教育研究所)

協力: 東京家庭教育研究所

〒166-0012 東京都杉並区和田1-5-12

電話 03(3381)0705

FAX 03(3381)0723

<http://www.kateikyoiku.jp/>

東京家庭教育研究所は、「親が変われば子どもが変わる」という教育原理に基づいて、各地で講演会・講座を開催、また子育ての相談に応じています。多くの方が、「子どもに学ぶ家庭教育」を学び、たくさんの幸せな家庭が誕生しています。

家庭の役割

娘さんを見守るお母さんのあたたかい心が伝わってきます。高校生の娘さんにとって、スマホは生活に欠くことのできない重要なツールですね。この感覚にはお母さんと娘さんの間に違いがあると思います。だからお母さんが感じる心配は、娘さんにはピンと来ないかもしれません。そこでお母さんの娘さんを心配する心が温かく発揮されるためには、家庭の役割がどう果たされているかということが大切になります。

開祖さまは、家庭の役割について「家庭は社会生活という嵐の中の港であることにまちがいありません」(『躍進』昭和44年2月号)と教えてくださっています。

船は、港で静かに憩う間も、傷んだ帆をつくろい、エンジンを調整し、水や食料の補給をし、船としての内容を充実させつつ、次の出港への準備をします。娘さんが心を休め明日への活力を得るには、どんな補給が必要でしょうか。家庭の役割を今一度見直してみると、お母さんでなければできない触れ合いを見つけられるのではないのでしょうか。

(立正佼成会習学部監修)



Please give us your comments!

皆様のご意見・ご感想をお寄せください。

Eメール : living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp

しあわせを生きる

今年95才になる父が、体調不良のため地元の病院に入院しました。父も、また私たち家族も、老いや病という現実に向き合う毎日となりました。

30代で佼成会に入会した父は、これまで仏道精進の人生をひたすらに歩んできました。私が青年期に佼成会に入会したのも、父がその生き方を通して教えの尊さを示してくれたからです。私は学生時代、将来は農学者として世界の食糧増産に役立ちたいと願い努力していました。しかし、心には常にさまざまな不満やいらだちがありました。ところが佼成会で教えを学び実践するうちに、無限の恵みの中に抱かれ、生かされている世界が少しずつ見え始め、私の心は感謝の念と安らぎに満たされていきました。

「親父からいのちをいただき、教えをいただき、ほんとうに幸せです。有り難う」私の言葉にうれしそうな顔をしてくれる父を見て、私はあらためて、父の生き方に導かれ、教えに出会えた幸せをかみしめました。

国際伝道部長
水谷庄宏



Rissho Kosei-kai Overseas Dharma Centers

2017

Rissho Kosei-kai International

3F Fumon Media Center, 2-7-1 Wada, Suginami-ku, Tokyo, Japan
Tel: 81-3-5341-1124 Fax: 81-3-5341-1224

Rissho Kosei-kai International of North America (RKINA)

2707 East First Street Suite #1 Los Angeles
CA 90033 U.S.A

Tel: 1-323-262-4430 Fax: 1-323-262-4437
e-mail: info@rkina.org http://www.rkina.org

Branch under RKINA

Rissho Kosei-kai of Seattle's Buddhist Learning Center

28621 Pacific Highway South, Federal Way, WA 98003, U.S.A.

Tel: 1-253-945-0024 Fax: 1-253-945-0261

e-mail: rkseattlewashington@gmail.com

http://buddhistlearningcenter.org/

Rissho Kosei-kai of Vancouver

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Antonio

6083 Babcock Road, San Antonio, TX 78240, U.S.A.

P.O. Box 692148, San Antonio, TX 78269, USA

Tel: 1-210-561-7991 Fax: 1-210-696-7745

e-mail: dharmasanantonio@gmail.com

http://www.rkina.org/sanantonio.html

Rissho Kosei-kai of Tampa Bay

2470 Nursery Road, Clearwater, FL 33764, U.S.A.

Tel: (727) 560-2927

e-mail: rktampabay@yahoo.com

http://www.buddhismtampabay.org/

Rissho Kosei-kai Buddhist Church of Hawaii

2280 Auhuhu Street, Pearl City, HI 96782, U.S.A.

Tel: 1-808-455-3212 Fax: 1-808-455-4633

e-mail: info@rkhawaii.org http://www.rkhawaii.org

Rissho Kosei-kai Maui Dharma Center

1817 Nani Street, Wailuku, HI 96793, U.S.A.

Tel: 1-808-242-6175 Fax: 1-808-244-4625

Rissho Kosei-kai Kona Dharma Center

73-4592 Mamalahoa Highway, Kailua-Kona, HI 96740, U.S.A.

Tel: 1-808-325-0015 Fax: 1-808-333-5537

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Los Angeles

2707 East First Street, Los Angeles, CA 90033, U.S.A.

Tel: 1-323-269-4741 Fax: 1-323-269-4567

e-mail: rk-la@sbcglobal.net http://www.rkina.org/losangeles.html

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Arizona

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Colorado

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Diego

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Las Vegas

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Dallas

Rissho Kosei-kai of San Francisco

1031 Valencia Way, Pacifica, CA 94044, U.S.A.

Tel: 1-650-359-6951 Fax: 1-650-359-6437

e-mail: info@rksf.org http://www.rksf.org

Rissho Kosei-kai of Sacramento

Rissho Kosei-kai of San Jose

Rissho Kosei-kai of New York

320 East 39th Street, New York, NY 10016, U.S.A.

Tel: 1-212-867-5677 Fax: 1-212-697-6499

e-mail: rkny39@gmail.com http://rk-ny.org/

Rissho Kosei-kai of Chicago

1 West Euclid Ave., Mt. Prospect, IL 60056, U.S.A.

Tel: 1-773-842-5654

e-mail: murakami4838@aol.com

http://home.earthlink.net/~rkchi/

Rissho Kosei-kai of Fort Myers

http://www.rkftmyersbuddhism.org/

Rissho Kosei-kai Dharma Center of Oklahoma

2745 N.W. 40th Street, Oklahoma City, OK 73112, U.S.A.

Tel & Fax: 1-405-943-5030

e-mail: rkokdc@gmail.com http://www.rkok-dharmacenter.org

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Klamath Falls

1660 Portland St. Klamath Falls, OR 97601, U.S.A.

Rissho Kosei-kai, Dharma Center of Denver

1255 Galapago Street, #809 Denver, CO 80204, U.S.A.

Tel: 1-303-446-0792

Rissho Kosei-kai Dharma Center of Dayton

425 Patterson Road, Dayton, OH 45419, U.S.A.

http://www.rkina-dayton.com/

Rissho Kosei-kai do Brasil

Rua Dr. José Estefno 40, Vila Mariana, São Paulo-SP,

CEP 04116-060, Brasil

Tel: 55-11-5549-4446 / 55-11-5573-8377

Fax: 55-11-5549-4304

e-mail: risho@terra.com.br http://www.rkk.org.br

Rissho Kosei-kai de Mogi das Cruzes

Av. Ipiranga 1575-Ap 1, Mogi das Cruzes-SP,

CEP 08730-000, Brasil

Tel: 55-11-5549-4446/55-11-5573-8377

Rissho Kosei-kai of Taipei

4F, No. 10 Hengyang Road, Zhongzheng District, Taipei City 100, Taiwan

Tel: 886-2-2381-1632 Fax: 886-2-2331-3433

http://kosei-kai.blogspot.com/

Rissho Kosei-kai of Taichung

No. 19, Lane 260, Dongying 15th St., East Dist.,

Taichung City 401, Taiwan

Tel: 886-4-2215-4832/886-4-2215-4937 Fax: 886-4-2215-0647

Rissho Kosei-kai of Tainan

No. 45, Chongming 23rd Street, East District, Tainan City 701, Taiwan

Tel: 886-6-289-1478 Fax: 886-6-289-1488

Rissho Kosei-kai of Pingtung

Korean Rissho Kosei-kai

6-3, 8 gil Hannamdaero Yongsan gu, Seoul, 04420, Republic of Korea

Tel: 82-2-796-5571 Fax: 82-2-796-1696

e-mail: krkk1125@hotmail.com

Korean Rissho Kosei-kai of Busan

3F, 174 Suyoung ro, Nam gu, Busan, 48460, Republic of Korea

Tel: 82-51-643-5571 Fax: 82-51-643-5572

Branches under the Headquarters

Rissho Kosei-kai of Hong Kong

Flat D, 5/F, Kiu Hing Mansion, 14 King's Road,

North Point, Hong Kong, Republic of China

Rissho Kosei-kai of Ulaanbaatar

15F Express tower, Peace avenue, khoroo-1, Chingeltei district,
Ulaanbaatar 15160, Mongolia
Tel: 976-70006960
e-mail: rkkmongolia@yahoo.co.jp

Rissho Kosei-kai of Sakhalin

4 Gruzinski Alley, Yuzhno-Sakhalinsk
693005, Russian Federation
Tel & Fax: 7-4242-77-05-14

Rissho Kosei-kai di Roma

Via Torino, 29-00184 Roma, Italia
Tel & Fax : 39-06-48913949
e-mail: roma@rk-euro.org

Rissho Kosei-kai of the UK**Rissho Kosei-kai of Venezia**

Castello-2229 30122-Venezia Ve Italy

Rissho Kosei-kai of Paris

86 AV Jean Jaures 93500 Tentin Paris, France

International Buddhist Congregation (IBC)

3F Fumon Media Center, 2-7-1 Wada, Suginami-ku, Tokyo, Japan
Tel: 81-3-5341-1230 Fax: 81-3-5341-1224
e-mail: ibcrk@kosei-kai.or.jp <http://www.ibc-rk.org/>

Rissho Kosei-kai of South Asia Division

3F Fumon Media Center, 2-7-1 Wada, Suginami-ku, Tokyo, Japan
Tel: 81-3-5341-1124 Fax: 81-3-5341-1224

Rissho Kosei-kai International of South Asia (RKISA)

201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkapi, Huaykhwang
Bangkok 10310, Thailand
Tel: 66-2-716-8141 Fax: 66-2-716-8218
e-mail: thairissho@csloxinfo.com

Branches under the South Asia Division**Rissho Kosei-kai of Central Delhi**

224 Site No.1, Shankar Road, New Rajinder Nagar, New Delhi,
110060, India

Rissho Kosei-kai of West Delhi

66D, Sector-6, DDA-Flats, Dwarka
New Delhi 110075, India

Rissho Kosei-kai of Kolkata

E-243 B. P. Township, P. O. Panchasayar,
Kolkata 700094, India

Rissho Kosei-kai of Kolkata North

AE/D/12 Arjunpur East, Teghoria, Kolkata 700059,
West Bengal, India

Rissho Kosei-kai of Bodhgaya Dharma Center

Ambedkar Nagar, West Police Line Road
Rumpur, Gaya-823001, Bihar, India

Rissho Kosei-kai of Patna Dharma Center**Rissho Kosei-kai of Kathmandu**

Ward No. 3, Jhamsilhel, Sancepa-1, Lalitpur,
Kathmandu, Nepal

Rissho Kosei-kai of Singapore**Rissho Kosei-kai of Phnom Penh**

#201E2, St 128, Sangkat Mittapheap, Khan 7 Makara,
Phnom Penh, Cambodia

Thai Rissho Friendship Foundation

201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkapi, Huaykhwang
Bangkok 10310, Thailand
Tel: 66-2-716-8141 Fax: 66-2-716-8218 e-mail: info.thairissho@gmail.com

Rissho Kosei-kai of Bangladesh

85/A Chanmari Road, Lalkhan Bazar, Chittagong, Bangladesh
Tel & Fax: 880-31-626575

Rissho Kosei-kai of Dhaka

House#408/8, Road#7(West), D.O.H.S Baridhara,
Dhaka Cant.-1206, Bangladesh
Tel: 880-2-8413855

Rissho Kosei-kai of Mayani

Mayani(Barua Para), Post Office: Abutorab, Police Station: Mirshari,
District: Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Patiya

Patiya, sadar, Patiya, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Domdama

Domdama, Mirsarai, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Cox's Bazar

Ume Burmese Market, Main Road Teck Para, Cox'sbazar, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Satbaria

Satbaria, Hajirpara, Chandanish, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Laksham

Dupchar (West Para), Bhora Jatgat pur, Laksham, Comilla,
Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Raozan

West Raozan, Ramjan Ali Hat, Raozan, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Chendirpuni

Chendirpuni, Adhunagor, Lohagara, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Ramu**Rissho Kosei Dhamma Foundation, Sri Lanka**

No. 628-A, Station Road, Hunupitiya, Wattala, Sri Lanka
Tel: 94-11-2982406 Fax: 94-11-2982405

Rissho Kosei-kai of Polonnaruwa**Rissho Kosei-kai of Habarana**

151, Damulla Road, Habarana, Sri Lanka

Other Groups**Rissho Kosei-kai Friends in Shanghai**